

KSE設立50周年記念事業 沖縄研修旅行報告

2024年6月26日
事業委員長 山本雅之

1日目首里城再建工事現場視察、2日目親睦ゴルフ～夕食までを報告します。

・第1日目（6月19日） 出発～那覇へ

伊丹空港7時15分集合と早朝にもかかわらず、7時15分過ぎには全員集合。チケットを受取り、それほど混雑もなく保安検査を通過。飛行機はほぼ定刻の8時15分に出発し、那覇空港へ。予定より早く10時15分ごろに到着。那覇は湿度が高くむっとした暑さ。早速集合写真を撮影。その後、貸切バスにて県立博物館、美術館へ。外観のみの見学の見学予定であったが、暑いのと時間があるので館内を見学することに。入館料は70歳以上無料で特に証明書は求められず、2名がその恩恵をうけた・・・美術館、博物館の内容は個人的には少し難しくあまり理解できなかったが、それは私だけではなかったようである・・・

1時間半ほどの見学を終え、国際通りまで移動。ここで昼食の豚肉料理を頂き、食後国際通りを散策。15時過ぎに首里城再建工事現場に向かった。



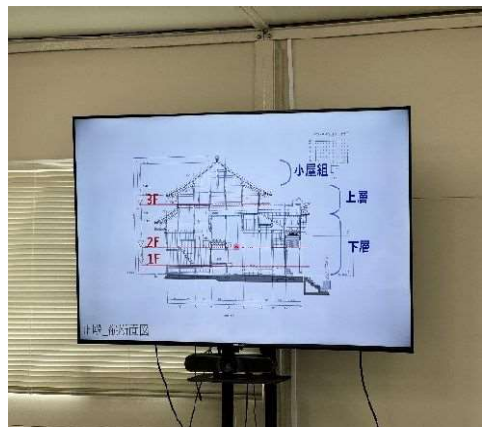
第1日目（6月19日） 首里城工事現場視察

首里城再建工事現場は国際通りからバスで20分くらいの小高い丘の上にある。首里城周辺は公園になっていて、公園の駐車場から歩いて10分くらいのところの、入り口となる奉神門に到着。16時に事務所へ案内していただき、工事監理をされている国建の成田氏から約45分ほど、建物概要、工事状況、また設計概要などの説明があり、その後工事現場へ。工事現場は建屋で覆われ、完全屋内作業なので材木工場のようだ。躯体はほぼ出来上がっていて、現況は漆塗りや、飾りつけの準備、屋根瓦を葺いていく段階で、丁度よいタイミングで見学することができた。30分ほど工事現場を案内していただき、その後事務所で質疑応答の場が設けられ、

- ・設計工程が厳しく、ケーススタディをする時間がなかった。
- ・基礎は既存を再利用している（地盤は良い）
- ・水平力はほぼ壁が負担する強度型建物となっている。
- ・柱は奈良産

とのことで、有意義な現場視察となった。

ちなみに首里城は、1429年から450年間存在した琉球王国の国王と、その家族が居住する「王宮」であった。1879年（明治12）春、国王が追放され「沖縄県」となった後、1930年代には大規模な修理が行われたが1945年にアメリカ軍の攻撃により全焼した。2000年12月には、世界遺産に登録されたが、2019年10月に再び焼失した。



・第2日目（6月20日） ゴルフ組

6時45分集合後、送迎バスにて沖縄の名門、琉球ゴルフ倶楽部へ向かう。天候は曇り、夜に雨が降ったせいか蒸し暑い。7時20分ごろにはゴルフ場に到着。スタートまで時間があるのでのんびりと朝食をとり、8時20分ごろアウト1番ホールへ。ミニコンペを開催しようということで、ダブルペリアにより順位をつけ1～3位には賞品を、また各ショートホールにニアピン賞を設けた。1組目は、土野池さん、轟さん、湯川さん、山本、2組目は篠原さん、高木さん、東山さん、道中さん。この日のコンディションは前々日まで降り続いた雨の影響で、ラフは手入れができずに芝はのび放題。



キャディ曰くトーナメント時より厳しいとのこと。ただフェアウエイ、グリーンはとても整備されていて、高麗グリーンは曲者で面白くもあり難しくもあり、キャディ付きでなければ大変だ。スタート時に発生していた霧は、時間とともになくなり、さわやかな風も吹き始め、青空も見え始めた。そんなこんなで、あがってみれば皆さんのスコアは普段より悪いが目立った。ホールアウト後、入浴、レストランで昼食、表彰式。栄えある優勝は「大叩きました！」と言っていた湯川さんがハンデキャップ34.8の恩恵を受け優勝。2位は篠原さん、3位は土野池さんで、ニアピン賞は東山さん、道中さん、山本が獲得。

表彰式を終え帰路のバス内では、土野池さんのお孫さんの話で盛り上がり、あっというまにホテルに到着、この日のゴルフを終えた。

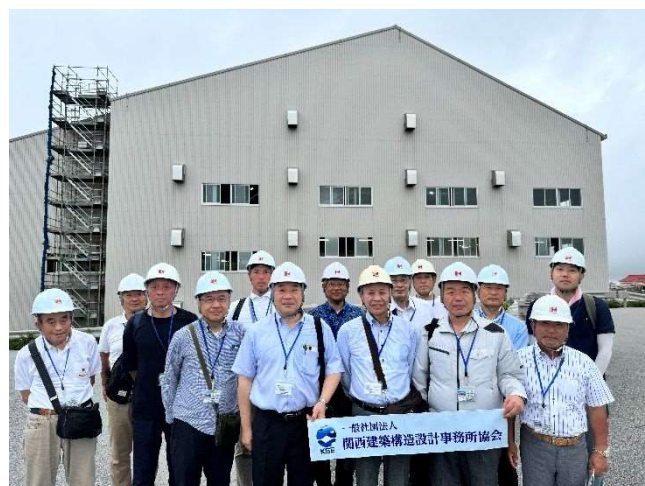
・第2日目（6月20日） 夕食

2日目の夕食は鉄板料理。ステーキに海鮮と豪華なディナーとなりました。ちなみに1日目の夕食は沖縄料理で琉球舞踊も楽しみました。





廣福門



首里城現場



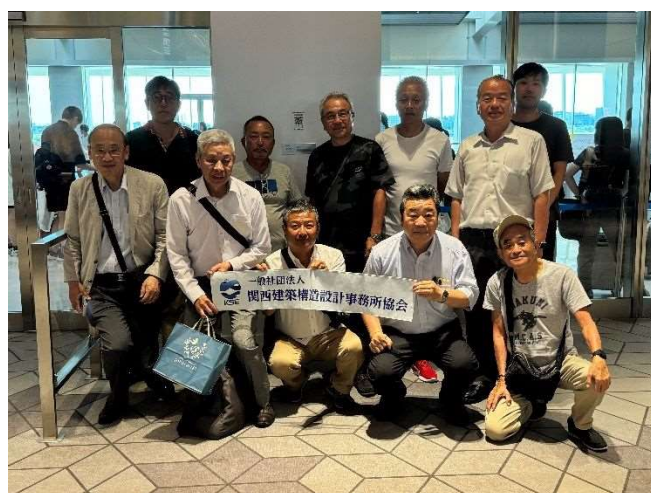
那覇空港出発-1



那覇空港出発-2



伊丹空港到着-1



伊丹空港到着-2-

KSE 設立 50 周年記念事業 沖縄研修旅行 2 日目 研修報告書

2024 年 6 月 20 日 (木)

参加者 西 邦弘 (名誉会長兼相談役) 正木 忠 (会長) 前川 忠弘 (相談役)

樋笠 康男 (運営担当副会長) 中本 篤 (記録者)

■ 行程

ホテル → ナゴパイナップルパーク → 古宇利オーシャンタワー → 今帰仁城跡 →
美ら海水族館 → ホテル

沖縄本島は全長約 150 km あり、視察した本部半島は 90 km の位置にあります

■ 実施内容

1. ナゴパイナップルパーク 10:00~10:30

パイナップルの生育状況の確認をしました。パイナップルは、実の形が松かさ(pine)と甘い果実の香り(apple)に似ていることから名付けされたそうです。パイナップルは酸性土壌で育ち、収穫には 3 年かかるそうです。写真①

2. 古宇利 (こうり) オーシャンタワー 11:00~11:30

本部半島から、屋我地島 (やがじしま)、古宇利大橋 (全長 1.96 km) を通り古宇利島に渡りました。古宇利大橋より海が見え、エメラルド色は太陽光が海底の砂に反射して見えています。オーシャンタワーは 4 階建て、高さ 36m、最上階は展望デッキがあり 360 度海、島が眺望できました。写真②

3. 今帰仁城跡 (なきじんじょう) 12:00~12:30

今帰仁城跡は、沖縄本島に 9 つある世界遺産の 1 つ。外郭の石垣は、高さ 2m 程度の石積み、蛇行しながら続いていました。石は今帰仁でしか採れない非常に硬い石で、碎石にも使われるそうです。また本島南側、首里城の石はそこまで硬くないことから、同じ石積みでも建築様式が異なりました。写真③

4. 美ら海水族館 (ちゅらうみ) 14:00~15:30

沖縄国際海洋博覧会の会場跡地に建設されました。水族館から 5km 西の沖合に伊江 (いえ) 島が見えました。本島と伊江島を橋で繋ぐ計画があるそうです。水族館内で一番大きい水槽は、高さ 8m、長さ 23m でアクリル厚み 0.6m でした。上部水槽でガラスを受ける鉄骨梁は水槽の形状に沿って R 加工でビルト H 型鋼、細かくスチフナが付いていました。直交する小梁も端部ハンチ加工してありました。泳ぐマンタより鉄骨溶接部の方が先に目に入りました。写真④、⑤



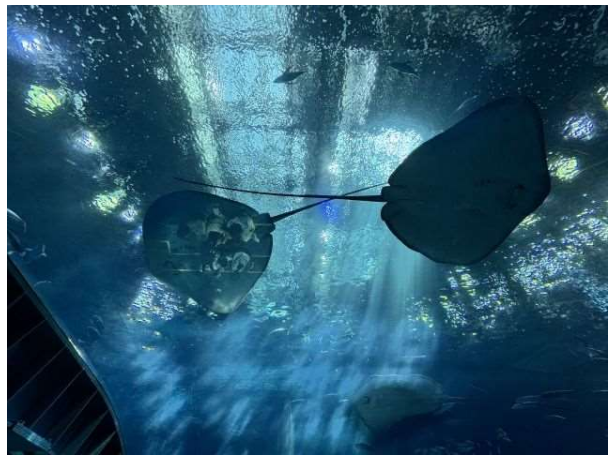
写真①ナゴパイナップルパーク



写真②古宇利オーシャンタワー



写真③今帰仁城跡



写真④,⑤ 美ら海水族館